

着

mono通信

yoroduya

2022・1 vol.40



原町本店
〒975-0003
南相馬市原町区栄町2-83
TEL:0244-24-2929

いわき店
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F
TEL:0246-85-5298



謹賀新年

昨年中は大変お世話になりました。コロナ禍でもたくさんのお客様に足を運んで頂けて、本当に感謝感謝の1年でした。今年はさらに、着物好きのお客様に楽しんでいただけるような、ワクワクする商品の展開や、イベントの企画などを計画しております。一人でも多くの方に、日々の着物生活を楽しんでいただきたい思いと、日本の民族衣装という着物文化を絶やさないため、よろづ屋は2022年も頑張ります！



和装館 よろづ屋 2022年催事予告



今年も、お客様にぜひおススメしたい商品を、実際に手に取って納得していただける催事を企画いたしました！雑誌やインターネット、SNSなどで気になっていた商品をラインナップ！ちょっとだけ予告します！

その1

<たかはしきもの工房 フィットング会>

大人気の「たかはしきもの工房」の商品が全て手に取って、フィッティングできて、その場で購入できる会です。夏の着物生活にピッタリな簡単に汗ジミの悩みを解決してくれる商品が勢揃い！簡単に、楽にきものが着たい！

汗かきなので涼しくきものを着たい！夏はきものを着なかったけどチャレンジしたい！

面倒な補整はしたくない！など、きものを着る人のために考えられた驚きの便利グッズや肌着がたくさん！きものを着るのがもっと楽しくなるはず！

たかはし
きもの
工房

いわき店：5月11日(水)～14日(土)

※12日、13日の2日間はアドバイザー来店予定

原町本店：7月13日(水)～16日(土)

※14日、15日の2日間はアドバイザー来店予定

<ゑびす足袋 足合わせ会>

その2



万延二年創業

ゑびす足袋 本舗

老舗の足袋メーカー、大阪・ゑびす足袋の足合わせ会です。ゑびす足袋は、足を細く見せ、綺麗でシワの少ない足美人になれる足袋で好評

です。土踏まずをサポートするように足袋の底布がフィットするので、足裏の筋肉をサポートしてくれ、長時間歩いても疲れにくくなっています。外反母趾など、足のトラブルでお悩みの方も多いため！本当にオススメの足袋です。催事では、一人ひとりの足を計測し、ピッタリの足袋を選ぶことができます。

また、ゑびす足袋さんで話題の「こたび」は、開帳足や外反母趾などで足の横のアーチが崩れ、幅広になっている方などにおススメの商品です。足裏のアーチを再生し、健康な状態に戻すサポーターとしてご利用いただけます。ぜひこちらの商品も、実際にフィッティングしてお試しください！

いわき店：8月3日(水)～6日(土)

原町本店：9月7日(水)～10日(土)

< よろづ屋 きものがたり～京友禅～ >

全国の紬や染めの産地のお話や、きものまつわるあれこれをご紹介しますコーナー
第13回目は、日本画のような多彩な染め模様「京友禅」

京友禅(きょうゆうぜん)は、京都府一帯で作られる染織品です。京友禅の特徴は、豊かな色彩と、絵画的に動物や器物を表現する友禅模様と呼ばれる文様です。染色の技法が独特で、着物に描く模様の輪郭に隣接する模様が混ざらないように糊を引いていきます。手描きで制作するには手間がかかるため、簡略化された手法が現代では用いられています。京友禅以外にも、加賀友禅という石川県で発展した加賀五彩という美しい彩りが特徴の模様染めもありますが、加賀友禅には刺繍や金銀箔がないところが華やかな京友禅との大きな違いと言えます。



江戸時代に、当時有名であった宮崎友禅齋という扇絵師が考案した染織品が京友禅です。



扇の絵師として携わってきたデザインを模様染に 응용して染めたものが友禅染の始まりとされています。もともと、染色の文化は日本特有の文化が始まった奈良時代から登場し、蠟染めや挟み染めなどが次第に発展しました。室町時代に入ると、豪華絢爛な更紗や絞縫箔などが現れ京都での染色文化が築かれていきます。江戸時代中期になると、色が豊かで、絵画風の着物が



町人のなかでもはやされ、友禅染が流行していきました。この頃に、さまざまな技術が集約されて染色技術は完成されたと言われています。明治時代に、化学染料が導入されるようになると化学染料と糊で色糊を作る技術も生まれます。友禅模様を型紙で写す友禅染に、この色糊が用いられました。この技法は廣瀬治助によって考案され、それまでの友禅染をさらに発展させる転機となりました。豪華絢爛なイメージの京友禅は、多色使いで非常に色鮮やかなのが特徴です。隣り合う色が混ざらないよう、糸目糊で防染して模様を描き染めていく技法があるからこそその鮮やかさと美しさです。絵画的な色とりどりの染めに更に金糸で刺繍を加えることで、京友禅らしい優雅な着物となります。

世界に誇れる豪華
絢爛な京友禅



長持ちさせるお手入れの仕方

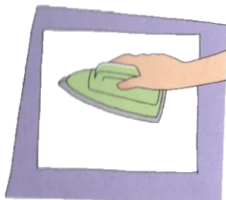
頻繁には洗わない着物や小物だからこそ、着たあとにきちんとしたお手入れが必要です。着物を脱いだらそのまましまうのではなく、ひと手間かけていつまでも大切に着ましょう。

～ほこり・汚れ～

着物を着たら毎回行ってほしいのが、別珍(ベルベット)の布などでほこりを取ることです。やさしくなでるだけで、たいていの汚れは落とすことができます。特に汚れがつきやすい衿元、袖口、裾はしっかりと。シミができた場合、水溶性の汚れと油・脂性の汚れでは落とし方が違うので、何の汚れか把握しておいてください。泥はねなどは、完全に乾いてから別珍の布などで軽くこすります。

～シワ～

どうしても気になるシワができれば、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。まず、裏側からかけて、それでも取れない場合は表からサッとかけます。蒸気が必要な場合は、アイロンのスチーム機能は使わず、あて布を霧吹きで湿らせてください。金糸・銀糸が入ったものや、ラメなどは溶けるのでかけないでください。



とるるんミトン
780円(税込)
着物についたほこりやカビなどをやさしくするだけで取り除きます

参考文献:着物の辞典 大久保信子監修

今月のおすすめ!



たかはしきもの工房
三賢伊達じめ
3,190円(税込)

今回ご紹介するのは、またまた「たかはしきもの工房」の優れもの、「三賢伊達じめ」です。この伊達じめは、胸紐と伊達じめの役割を一つにした、画期的な商品です。伊達じめ・胸紐・おはしより紐がこれ一本でまかなえるという「三賢伊達じめ」。いままでは、胸紐で胸元を押さえ、伊達締めや腰紐でおはしよりを整えていた方も少なくないはず。それどころか、おはしよりの長さによってはもう1本使う場合もあり、3本の紐を使うなんてことも珍しくないと思います。でも、この「三賢伊達じめ」なら1本で胸元をしっかりと押さえ、おはしよりも思う通りの長さで整えることができるのです。裏面は、綿のパイル地になっていて摩擦力でしっかり着物を押さえます。結ぶ部分は細くなっているのですそのまま結べますし、背中でも交差したり結んだりすることなく、そのまま巻けばいいので使い方も簡単。一本で伊達締めにもなり、胸紐の効果もあり、さらにおはしよりの調整までできます。もう余計な紐で苦しい思いはしなくていいのです。MサイズとLサイズ展開になっています。摩擦でしっかり押さえる発想がすごいです!

・・・若女将のつづやき・・・

あまりにも忙しすぎた師走。大掃除もままならないまま新年を迎える羽目に・・・先月は、よつば保育園(南相馬市)のおゆうぎ会に着付けのお手伝いで参加しました。年長さんになると、女の子は四つ身の祝着、男の子は袴姿で踊るのが伝統となっていて、昨年に続き今年も可愛い子供たちの着付けのお手伝いことができました。やはり、晴れ着は華やかで可愛いですね～。総勢27名の子供たちに3人で着付けをしましたが、休みなく2時間以上も着付けをしました。勉強になりました～

